



大阪大学グローバル COE 「コンフリクトの人文学」参加型公開研究イベント

共有の空間をつくる実験

「ちっちゃい火」を囲む

2010.1.29 [金] 13:00~

大阪大学豊中キャンパス
事前申し込み不要／参加無料

わたしたちが暮らしている学校という場所は、ふだんはその活動が専門や所属、身分などによって分かれています。この公開研究イベントでは、「日常の垣根を越えた出会いから新たに社会を発見する」というテーマで、美術家・小山田徹さんの作品『ちっちゃい火』を囲みながら、おしゃべりやお茶を楽しみたいと考えています。キャンパス内の公園で、異なる立場のひとが居合わせ、火を囲んで同じ時間を共有する—そのとき、新しく描き直された日常や社会が、あしもとにやってきているかもしれません。そんなこころみの時間を一緒にしませんか？

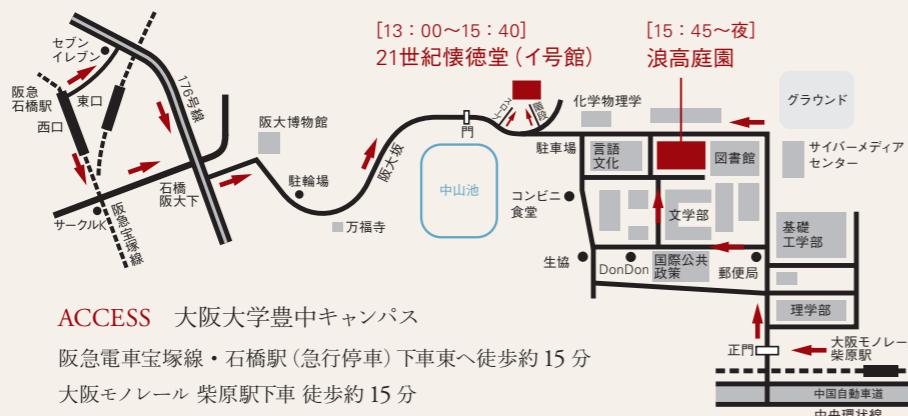
「ちっちゃい火」を囲む

2010.1.29[金] 学内学外問わず、どなたでも自由にご参加ください

「ちっちゃい火」の制作者である小山田徹さんと、本イベント共同企画者のブブ・ド・ラ・マドレーヌさんと一緒に、お二人が参加されていた「ダムタイプ」によるパフォーマンス作品『S/N』の、1995年上演時の記録映像を鑑賞します。

その後、キャンパス内の公園に移動し、「ちっちゃい火」を参加者で設置して囲みます。暖をとりながらお茶や食べものを味わいつつ、みなでゆっくりと過ごす時間を持つ

—共有の空間をつくる実験



『S/N』上映+トーク

13:00- パフォーマンス『S/N』記録映像上映
(ダムタイプ dumb type / 1995年上演)

15:00- 小山田さんとブブさんを交えての座談会

場所: 21世紀懐徳堂多目的スタジオ〈イ号館 2F〉

※『S/N』上映中は途中入室できません。途中退室は可能です。

『S/N』とは

1984年に生まれたアーティストグループ「ダムタイプ」は、1992年にインсталレーションやパフォーマンスから成る「S/Nプロジェクト」を開始。その直後にダムタイプ創設メンバーである古橋悌二が自らがゲイであることとエイズを発症していることを友人たちに伝えたことを契機とし、「S/Nプロジェクト」は「『S/N』のためのセミナー・ショー」という実験的作品を経ながらパフォーマンス『S/N』へと発展してきました。パフォーマンス『S/N』は、1996年までに16ヶ国21都市で上演された後、その上演記録映像が大学や市民講座など様々な場所で今も上映されています。上演当時は、セクシュアリティやエイズに対する表現がラジカル（過激・急進的）であると評されましたが、最後の上演から15年経とうとしている現在、このパフォーマンスに込められた人間と社会に対するメッセージは、新たな観客によってより深く受け入れられつつあるように思えます。

《ゲスト PROFILE》

小山田徹 こやまだ・とおる 美術家／風景収集狂者

84年、友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して90年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アートスクエア」「ウィークエンドカフェ」などの企画を行うほか、コミュニティカフェである「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。現在はそれらの活動を通じて集まつたさまざまな分野の友人たちと造作施工集団を作り、共有空間の開発を行っている。

ブブ・ド・ラ・マドレーヌ 現代美術作家/dista支援部コーディネーター
ダムタイプのパフォーマンス『S/N』に出演。その後、ソロまたは国内外のアーティストと共に映像、パフォーマンス、文章などの製作と発表を行う。同時にHIV/エイズやセックストワークに関する厚生労働省の研究事業等にも携わり、現在は大阪堂山にあるHIV/エイズや性的健康についての情報ステーション「dista」で支援部コーディネーターを務める。2008年より、「表現の基礎講座」と題する「私塾」の開催を社会学や文化人類学の専門家らと共に試みている。

「ちっちゃい火」を囲む：共有空間の実験

15:45- 夜まで（時間未定）

場所: 浪高庭園〈図書館正門前〉

途中参加／出入り自由／持寄大歓迎／カンパ箱設置／my 食器歓迎

キャンパス内の公園で、さまざまな立場のひとたちで設置や作業を行い、共有の場をつくりたいと考えています。

「ちっちゃい火」では簡単な調理ができます。焼きたいもの、ふるまいいたいものを企てて、ご参加いただくのも大歓迎です。

※共有空間実験の時間帯は大変寒いことが予想されますので、防寒対策をお願いします。

※大雨の場合中止または場所変更の可能性あり。その際は浪高庭園内の藤棚に掲示予定。

主 催：「ちっちゃい火」実行メンバー
大阪大学グローバル COE プログラム「横断するポピュラー・カルチャー」
(コンフリクトの人文学国際研究教育拠点)
共 催：大阪大学文学研究科メディアラボ
問合せ：久保田みお medialab@let.osaka-u.ac.jp

